

梅窓院通信

施餓鬼号

No.64

2013/04/01

青山



梅窓院の境内を彩る花々です。四季折々、きれいな花をお楽しみ下さい。

住職挨拶

梅窓院第二十五世

中島 真成



『青山』施餓鬼号をお届けします。本紙をお読み頂く頃には、竣工十年目の建物の修繕が始まります。五月末までおよそ二カ月かかる大規模修繕となりますので、皆様にご迷惑をお掛け致しますが、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

備えあれば憂いなし。当院はコンクリートの建物ですので、早めに手入れをして、いつまでも快適な梅窓院にお参りして頂きたいと思っておりますので、その為の工事になります。よろしくお願い致します。

さて、団体参拝のお知らせです。

最初に梅窓院の団参ですが、五月八日〜九日の二泊二日で群馬県を訪れます。桐生の名利浄運寺、水澤観音をお参りし、参拝の前後にはあしががフラワープークで藤の花を愛で、世界遺産登録が期待される富岡製糸工場で歴史に触れ、名物水沢うどんに舌鼓を打ち、美人の湯の老神温泉で宿をとる、という魅力あふれる団体参拝です。多くの方のご参加をお待ちしています。

次に傳通院、祐天寺、梅窓院の三か寺合同団参ですが八月二十五日から九日間かけてトルコを訪れます。イスラム教に触れ、東西の接点であり、東京と並ぶオリンピック候補地と名乗りを挙げているイスタンブールを訪れます。こちらは少々期間も費用もかかりますが、ご都合がつかましたらどうぞご参加下さい。

この四月から平成二十五年度が始まります。進学、就職といった出来事がないと年度変わりは意識しなくなりますが、心機一転の良い機会であることは忘れないようにしたいものです。

お施餓鬼

五月十八日(土)

施餓鬼会法要(塔婆回向)

午前九時半～ 祖師堂

※塔婆のお申込み状況により、時間を変更する場合があります。

別時念仏会／半齋供養

午前十一時～ 本堂

お齋(おん)(お食事を頂きます)

午前十二時～ 観音堂

御説教

午後一時～ 祖師堂

講師 秋田教区 九品寺 津村 信徳 上人

大施餓鬼会法要

午後二時～ 祖師堂

- ・長時間にわたる法要の為、途中からの参加も可能です。
- ・塔婆回向(お名前の読み上げ)は午前九時半からの法要で行ないます。
- ・全ての法要終了後にお塔婆をお渡し致します。

回向のお申込み方法とお知らせ

◆施餓鬼塔婆お申込み方法

御塔婆 御回向料 …… 1本/1万円

- ・同封のハガキにご記入の上4月30日(火)必着でお申込み下さい。
- ・施餓鬼会法要に参加される方は、出席人数も合わせてご記入下さい。(当日、出席人数分のお弁当をご用意致します。)
- ・御回向料は、同封の振込用紙で郵便局にてお支払頂くか、受付までお持ち下さい。(銀行・コンビニでのお支払いは出来ません。)

「せがき子どもひろば」のご案内

お施餓鬼の当日、梅窓院内に「子どもひろば」を設けます。保育士による絵本の朗読や、折り紙遊びなどを予定しております。是非この機会に、お子さまと一緒に御参り下さい。

※子どもひろばに関するお問い合わせは青山文化村まで。
TEL 03-3404-8588



昨年のごどもひろばの様子

施餓鬼によせて

施餓鬼会は各宗派のお寺でお勤めされる事の多い年中行事です。

お盆の頃に行われることが多いため、お盆の法要と思われる方も多いと思いますが、本来は別の法要です。

施餓鬼という漢字を見ると、難しそうに思う方もいらっしゃると思いますが、字の通り餓鬼に施すことが法要の目的です。餓鬼とは餓鬼道という恐ろしい世界に堕ちて常に飢えと渇きに苦しんでいる者たちのことで、生前に物惜しみをして他人へ施しを為さなかった人が餓鬼道に堕ちてしまいます。そのような苦しみの中にある餓鬼に食べ物や物を供え供養することが施餓鬼会なのです。

施餓鬼会で餓鬼を供養しますと、大きな良い行い(功德)が積まれます。そこで施餓鬼会で積まれた大きな功德を新たに亡なられた人の霊位や先祖代々の霊位にふり向け、施主となられた皆様の福德圓滿を願うこと、これも施餓鬼会が行われる理由です。

ここで少し考えて頂きたい事があります。私たちは餓鬼に施しをするにふさわしい存在なのでしょうか。様々な欲に囚われ、それが叶わず苦しみ、愚痴を言う私たちは餓鬼を憐れに思えるほど、餓鬼と遠く離れたところにいるといえるのでしょうか。

施餓鬼会では餓鬼を供養すると同時に、自身の心の中が餓鬼と化していないか、日常を振り返る機会にして頂ければと思います。

素直な心で手を合わせ皆様と一緒に心からお念仏を称えましょう。
(法務部)

二月の行事報告

第58回
念仏と法話の会
2月22日(金)

開山忌法要

六月八日(土)

梅窓院を開かれた南龍上人のご供養と報恩謝徳の法要を執り行います。また、法要後に能楽を奉納します。

なお、法要と能楽ともに一般の方も参列、観賞できます。ともに費用はかかりませんので、御家族・お友達お誘い合わせの上お越し下さい。

法要

午後三時～ 本堂

※法要終了後、休憩がしめます。

能楽奉納

午後四時～

祖師堂

演目 半能「半蔀」



能楽演者のプロフィール

橋本 忠樹(はしもと ただき)

1974年京都生まれ。東京藝術大学音楽学部卒。観世流シテ方橋本礪道長男。

父及び人間国宝・片山幽雪、十世・片山九郎右衛門に師事。幼少より父・礪道に師事し3歳で初舞台。大学在学時には、観世流シテ方26世宗家・観世清和、故・藤波重満、野村四郎、観世恭秀、関根知孝、各師に師事。

大学卒業と共に九世・片山九郎右衛門(現・幽雪)師の許で内弟子修行を積み2001年独立。

独立後は、若者に能楽の魅力を伝える新たな試みに挑戦し、祇園祭宵々山の日若者の集う商業施設・京都「新風館」の野外舞台りキユウホールにて新風館初の演能、華道末生流笹岡家元・笹岡隆甫と「生け花と能のコラボレーションの会」、お寺やバーでの能公演など、若者が気軽に能や日本の古典に触れられる機会を企画し公演を行っている。

2006年には、「日本・チュニジア国交50周年記念、カルタゴ芸術祭」にてチュニジア国では初の能公演に、その後もドイツ公演、アメリカ公演に参加し日本のみならず海外にても公演している。

また、実際に謡・仕舞を教え、伝える事にも熱心で、京都外国語大学や大阪市立大学、京都市立御所南小学校での稽古活動、京都・東京・滋賀・大阪・石川などでの稽古活動の他、「小さな子供のお稽古教室」も開き、幼少から日本の伝統文化である「能」に触れることによって「本物」を見極める目を養う機会を提供している。

(公益社団)日本能楽協会会員・(公益社団)京都観世会会員

東京藝術大学音楽学部同声会会員

DO YOU KYOTO?ネットワーク参加・京都市DO YOU KYOTO?大使



梅窓院の開基について

当院の開山忌は本年度三回目となります。開山の南龍上人のご供養と報恩感謝の為に、そして、その名を檀信徒の皆様幅広く知って頂くために始めたものです。お陰様で多くの皆様のご協力を得て開山忌が盛興しています。誠に有難うございます。

さて、寺院建立の為に、開山と同様に大切なのが開基です。今回はその開基についてお話し致します。

まず開山の復習ですが、開山は寺院を開創した僧の敬称で、平安時代に山谷を切り開いて寺が立てられたことから寺院には山号がつけられ、それから寺の初代の僧を開山上人と呼ぶようになりました。

一方、開基は基礎を築くという意味で、主として寺院の創立者のことを言います。つまり、寺を建てる為の資財の提供や経済的負担をしてくれた人のことです。ですから、通常、開山は僧になり、開基は在俗者になります。

さて、当院の開基ですが、「文政寺社書上」に、開基、青山大蔵大輔幸成とありますが、当院は幸成君の菩提を弔う為に建立された寺ですので、幸成君が亡くなられて建立されていきますから、幸成君は開基にはなれません。別の資料では幸成君の息子幸利君が開基にあたりますが、それも疑問点が多々残ります。梅窓院では今も伝わる「梅窓縁起」より、幸成君の夫人を開基としています。

幸成君は亡くなると青山の地で茶毘(火葬)にふされ増上寺に葬られました。夫人が主人とその殉死者三名の菩提を祈らん為に青山の茶毘の地に寺を建立されました。まさに開基ということ。今も当院墓苑の青山家の墓にある幸成君夫人の石碑(墓)に長青という梅窓院の山号が彫られ、そして寶樹という夫人の号が寺号にされていることなどから、この夫人(長青院殿天譽利白大姉)が当山の開基であることは間違いないようです。

はなまつり

4月5日(金)～8日(月)
 寺院棟2階 本堂
 寺院棟2階本堂エントランスに花御堂を、休憩所には甘茶をご用意しております。



花御堂

増上寺御忌大会

4月2日(火)～7日(日)
 大本山増上寺で、4月2日～7日までの6日間浄土宗の宗祖法然上人の御徳をたたえ、その御徳に感謝する特別な法要が行われます。4月3日、4日には詠唱大会が開かれ、北海道から静岡までの詠唱会が本堂で奉納します。4日に梅窓院の詠唱会も奉納しますので、みなさんお足をお運び下さい。



平成24年の様子

団体参拝旅行

5月8日(水)～9日(木)
 今年は群馬県桐生の浄運寺に参ります。



浄運寺本堂。宝暦3年(1753年)に建立された間口11間という大きな伽藍です。

施餓鬼会法要

5月18日(土)
 ※詳細は中面をご覧ください。

開山忌法要・能楽奉納

6月8日(土)
 午後3時～ 本堂
 ※詳細は中面をご覧ください。

第59回 念仏と法話の会

6月12日(水)
 12時半～(受付は12時～)
 別時念仏／法話／茶話会
 法話:「小学校教育と仏教心」
 講師 群馬教区 長壽院 蟹和秀顕上人

秋彼岸写真コンクール開催のお知らせ

今年も写真コンクールを開催致します。会場にて人気投票を行い、1位の方には景品を差し上げます。

詳細については6月1日発行の『青山』お盆号にてお知らせ致しますので、ふるってご応募下さい!!



お知らせ

消防訓練

3月1日(金)梅窓院で赤坂消防署の指導と監修のもとに消防訓練を行いました。僧侶や職員が実際に消火活動を実践しましたが、真剣そのものでした。



お檀家さんに伺いました

「非日常を味わえます」

様 (平成24年念仏と法話の会にて)

本堂で暗くしてお念仏を称えることは、非日常を味わえます。お墓参りと同様、清々しい気分になります。一度来られたらまた行ってみようかと思うようになるのではないでしょうか?

インタビューにご協力頂き、誠にありがとうございました!

※行事やお墓参りなどでお寺にお越し頂いた方にご感想やご意見を伺っておりますので、ご協力の程お願い致します。

発行 / 梅窓院
 発行日 / 平成25年4月1日
 発行人 / 中島 真成
 編集 / 青山文化村
 住所 / 〒107-0062
 東京都港区南青山2-26-38
 電話 / 03-3404-8447
 F A X / 03-3404-8436
 ホームページ / <http://www.baisouin.or.jp/>
 E-Mail / jodo@baisouin.or.jp
 題字 / 中村康隆元浄土門主
 総本山知恩院第八十六世門跡